

平成26年度第1回さぬき市史編さん委員会 会議要旨（要約）

1 日 時 平成26年6月19日（木曜日）午前9時30分～午前11時30分

2 場 所 さぬき市役所3階303会議室

3 出席者 【委員】9名

六車功、五井良行、熊田正美、川崎登、鈴木珠美、大垣博信、津村一仁、
松田朝由、川地卓三

【事務局】中川勝幸（総務部秘書広報課課長）、鶴身昌大（総務部秘書広報課主任主事）、田中豊彦（総務部秘書広報課主事）、津村一仁（委員兼総務部秘書広報課市史編さん委員会事務局長）

【業務委託者】株式会社ぎょうせい（担当者3名）

4 会議次第

(1) 議題 編さん方針について（送付資料「サンプル原稿 終章－合併・新生「さぬき市」に向けて」参照）

(2) その他

5 配付資料

(1) サンプル原稿（事前送付）

6 会議内容

～各委員から、事前に送付した“サンプル原稿”を読んでの意見を求める～

（委員からの意見）

- ・年号と西暦年の表記について再考を求める。
- ・小説的な表現が多い。市史としての表現には適当ではないのではないかと。
- ・しかし、読みやすい面もある。
- ・合併して、どうして今の町名になったのか、その歴史が書けるようなら面白い。
- ・合併は、5町共通で特殊な項目になると思う。
- ・文章と図や写真との整合性を確認する必要がある。
- ・それぞれの町の個性を出すことができれば面白いと思う。

（委託者の回答）

- ・表記については、一定のルールを設けたい。
- ・小説的と言われた表現は、読みやすさや興味を持ってもらうため意図的に行った。それが過剰かどうかの意見を今回もらいたかった。
- ・全体の分量から見て、終章の分量は適当か。もう少し少なくてもいいと考える。